

経営比較分析表（平成29年度決算）

熊本県 菊池市

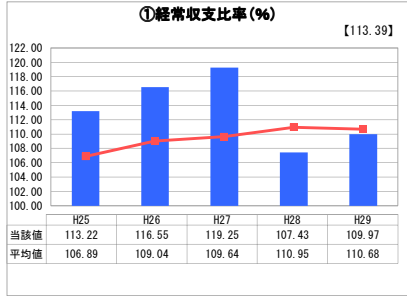
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	41.71	71.88	2,730	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
49,411	276.85	178.48
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
35,341	71.96	491.12

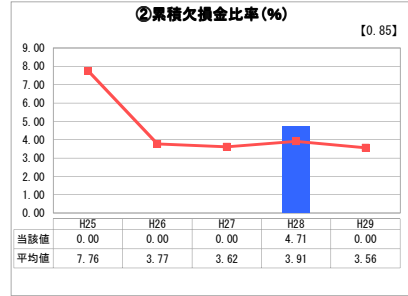
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

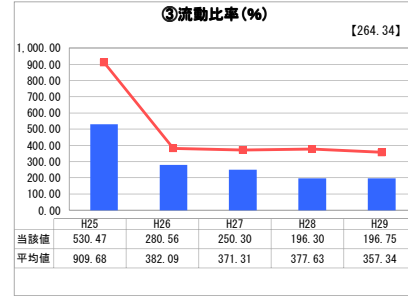
1. 経営の健全性・効率性



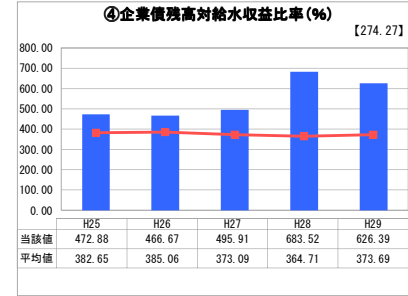
「経常損益」



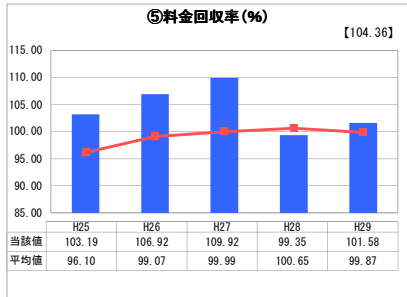
「累積欠損」



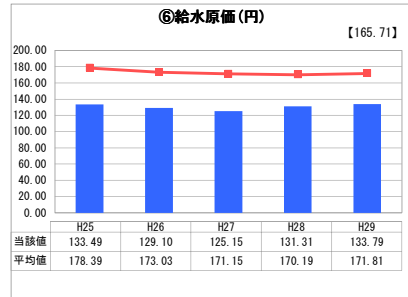
「支払能力」



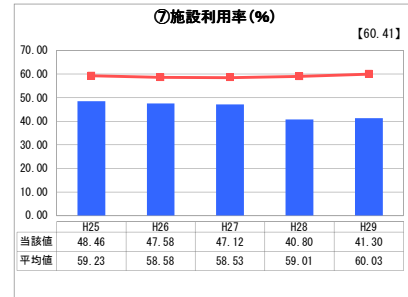
「債務残高」



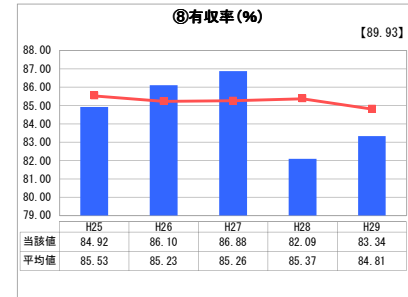
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

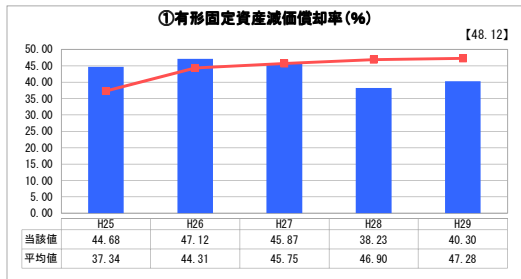


「施設の効率性」

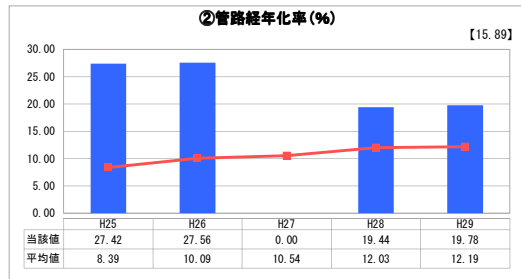


「供給した配水量の効率性」

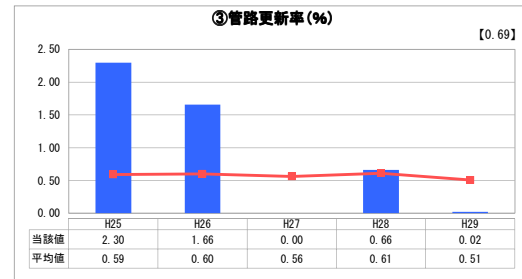
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率及び累積欠損比率については、熊本地震に伴い実施した減免措置に係る減収分が回復したことにより前年度より改善した。
 ④ 企業債残高対給水収益比率については、平成28年度に統合した簡易水道事業の企業債によるものが影響し平均値を超えている。
 ⑦ 施設利用率については、施設更新時などに見直しを行うなどより適正な施設の利用に努めていく。
 ⑧ 有収率については、漏水調査等に取組み、更なる有収率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

② 管路経年化率については、平均値を超えているが、経営状況などを考慮し計画的な投資を行わない改善を図る。
 ③ 管路更新率については、新規の水道管布設、井戸の掘削や水中ポンプ等機器更新を実施したため減少となった。

全体総括

平成30年度にアセットマネジメント策定業務が完了することから平成31年度において経営戦略及び水道ビジョンの策定に着手し、平成32年度から実施することで経営の安定化を図る。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。